

理事会会議資料

(令和2年度第3回)

(提案書)

提案日：令和3年1月7日

社会福祉
法人 神栖市社会福祉協議会

令和2年度 第3回 神栖市社会福祉協議会理事会 提案書

提案日：令和3年1月7日(木)

1. 提案事項

報告第1号 令和2年度(4～11月)事業実施状況及び予算執行状況について

議案第1号 令和2年度第3回評議員会の招集について

報告第1号

令和2年度(4～11月)事業実施状況及び予算執行状況について

<提案理由>

令和2年4月から11月までの8ヶ月間に実施した各種事業の結果、法人運営の状況、及び収支決算の状況について報告いたします。この報告は、定款第20条第5項に規定する、会長及び常務理事(業務執行理事)の職務状況報告として行うものです。

11月までに本会に寄せられた全ての相談延べ件数は13,545件で、前年同時期の2.5倍に上ります。このうち、新型コロナウイルスの影響による休業や失業等で生活困窮となった世帯への生活福祉資金特例貸付、及び住居確保給付金をはじめとした自立相談支援事業にかかる相談は2事業合わせて9,952件(前年同時期の2.1倍)で、相談全体の73.5%(前年同時期は8.9%)を占めており、本会の事務局体制は現在もコロナ関連対応を第一とした職員配置で進めているところです。

今年度計画していた参集型の事業(地域ネットワーク勉強会や各種講座等)は、感染拡大防止の観点から中止や延期の判断を余儀なくされましたが、コロナの影響による市民の生活課題の深刻化は、現在の神栖市において最優先に向き合うべき住民ニーズであり、今後も事務局一丸となって、相談支援活動に取り組んで参ります。

なお、収支状況につきましては、生活福祉資金事務受託金収入が、特例貸付申請期間の延長により予算現在額以上の増収が見込まれるなど、コロナ禍で当初計画通りの執行となっていない項目もありますが、全体の収支状況に大きな問題は発生しておりません。

各事業の具体的実施状況については次項以降、及び別添「資料1」にまとめております。本案件は、社会福祉法第45条の14第9項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第98条第2項の規定により、報告の省略はできず、実際に開催された理事会において報告を行う必要がありますので、次回の理事会開催時におきまして再度報告しますとともに、報告内容に関して同意書裏面にご記入いただいたご質問やご意見等に関する補足説明を行い、報告済みとする予定です。

令和3年1月7日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進

事業実施状況報告(令和2年4月~11月)

・総合相談体制の充実強化

1. 相談援助機能の充実強化

(1) 組織による相談援助の強化(総合相談。相談対応件数)(自主事業)

() 日常生活圏域別相談件数

日常生活圏域別実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
相談 件数	第 圏域	502	744	964	752	842	1,012	813	864	6,493	2,435
	第 圏域	254	459	580	525	547	720	511	691	4,287	1,138
	第 圏域	197	224	340	312	269	420	419	310	2,491	1,593
	上記以外	44	43	62	32	24	33	14	22	274	205
計		997	1,470	1,946	1,621	1,682	2,185	1,757	1,887	13,545	5,371
(前年度)		615	647	576	656	671	807	759	640	5,371	

() 相談内容別件数

1,267 1,694 1,284 1,418

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
1 緊急生活支援	30	31	23	37	37	46	30	41	275	231
2 生活福祉資金	466	821	948	794	879	1,164	997	1,093	7,162	161
3 行旅人支援	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5
4 低額診療	1	3	1	1	1	4	11	3	25	24
5 自立相談支援	123	319	442	376	388	530	287	325	2,790	315
6 生活相談(他)	9	1	12	9	1	5	2	3	42	52
7 日常生活自立支援	84	75	116	75	64	70	94	87	665	606
8 成年後見	35	51	72	55	58	55	44	33	403	270
9 障害相談	126	53	122	101	80	94	124	106	806	1,098
10 こころの相談	7	7	15	9	8	9	5	6	66	119
11 発達相談	3	21	27	24	22	26	25	29	177	162
12 ひきこもり	5	1	11	8	3	5	4	8	45	55
13 高齢者	2	3	11	7	4	5	1	2	35	473
14 貸出事業	0	1	0	0	0	0	1	4	6	34
15 福祉教育	1	3	2	1	2	5	4	4	22	140
16 ボランティア	10	17	25	29	22	24	18	23	168	339
17 ファミリーサポート	51	23	55	54	74	86	70	75	488	899
18 ういらかみす	26	10	55	38	37	28	36	39	269	313
19 苦情	0	0	5	0	0	0	0	0	5	2
20 その他	18	30	4	2	2	29	4	6	95	73
計	997	1,470	1,946	1,621	1,682	2,185	1,757	1,887	13,545	5,371
(前年度)	615	647	576	656	671	807	759	640	5,371	

(2) 課題発見機能の充実(地区民生委員との連携)(自主事業)

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
民協定例会へ参加	0	0	2	2	0	0	0	0	4回
同行訪問、情報共有	4	6	2	6	6	7	8	5	44
(前年度)	16	15	8	12	6	6	9	17	89

(3) 他機関の相談窓口とのネットワークづくり (自主活動)

- ・市困りごと相談担当者と打合せ(他機関相談窓口との連絡会づくりなどを提言。5月)
- ・成年後見制度利用促進計画意見交換会(市長寿介護課、障がい福祉課と協議。10月)

2. コミュニティソーシャルワークの充実強化

(1) 課題解決へのネットワークづくり (自主事業)

前年度：前年4月～11月

会議の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
ケース会議(社協主催)	1					1	3		5	5
ケース会議(他機関主催)				1	3				4	3
連携会議(他機関主催)		1	1				1	3	6	11
計	1	1	1	1	3	1	4	3	15	19

(2) 生活課題解決に対する組織化・事業化 (自主事業)

開催日	内 容	参加者
7月30日	第265回地域ネットワーク勉強会 「高次脳機能障害を抱える方への支援～事例を通して症状と関わり方を学ぼう～」	29名

4～6月の地域ネットワーク勉強会は中止。8月以降も開催を見合わせています。

3. 職員派遣を通じた福祉相談窓口のネットワーク強化(自主事業)

- (1) 精神保健福祉士・社会福祉士の派遣 (神栖市社会福祉課) 1名派遣
- (2) 生活支援コーディネーターの派遣 (神栖市長寿介護課) 1名派遣
- (3) 精神保健福祉士・社会福祉士の派遣 (神栖市障がい福祉課) 1名派遣
- (4) 家庭児童相談専門員の派遣 (神栖市こども福祉課) 1名派遣

令和3年度以降の派遣職員数について

新型コロナウイルス関連で急増する生活相談及び貸付事業への対応と、現在神栖市から受託している「生活困窮者自立支援事業」の規模拡大(就労準備支援事業・家計相談支援事業の追加)に応じられる事務局体制を整えるため、神栖市への派遣人数を減員(4名から2名へ)したい旨の要望書を、令和2年9月23日付で神栖市福祉事務所長へ提出しました。

その後、現派遣先の各課を交え協議・調整を重ねるとともに市健康福祉部内で検討がされ、神栖市福祉事務所長からの令和2年10月23日付回答書により、令和3年度から市への派遣職員数を2名とし、現派遣先のうち長寿介護課、障がい福祉課への派遣を今年度で終了することが合意されました。

・必要とされる各領域の権利擁護・生活支援システムづくり

1. 精神障害者、発達障害児者、ひきこもりの方等への支援活動

(1) 精神障害者の地域生活支援の充実

() 精神保健相談「こころの相談室」(再掲。平成20年度自主事業開始)

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
窓 口	1	1	6	3	4	3	2	4	24	46
電 話	6	6	9	5	4	6	3	2	41	58
訪 問	0	0	0	1	0	0	0	0	1	15
計	7	7	15	9	8	9	5	6	66	119
(前年度)	19	8	25	17	13	20	9	8	119	

(ii) 精神保健ダイケア事業平成16年度自主事業開始、

平成17年度神栖市より一部受託。受託金額3,200,000円)

・神栖地区「青空」(毎週水曜日・木曜日・金曜日) ※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
開催回数	0	0	12	13	12	13	14	12	76	103
延べ利用人数	0	0	65	70	57	69	73	51	385	648

※4, 5月は中止

・波崎地区「ほのぼの」(毎週火曜日) ※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
開催回数	0	0	4	4	4	4	4	3	23	34
延べ利用人数	0	0	1	2	4	9	8	5	29	52

※4, 5月は中止

(2) 発達障害児者等支援の充実

(i) 発達障害児療育者ステップアップ研修(仮。自主事業)

・発達障害児療育者研修(平成17～21, 25, 26, 28, 令和元年度に実施)の修了生を対象とした研修を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため今年度の開催は中止としました。

(ii) 会議・研修会

・市教育委員会主催 神栖市特別支援教育連携協議会に出席(6月)

(iii) ことばと発達の相談室(平成元年度自主事業開始)

相談事業の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
相談件数	0	0	16	16	15	17	16	16	96	115
(前年度)	14	15	14	14	21	10	12	15	115	

※相談室は言語聴覚士へ委託して実施(4, 5月は中止)しています。

(iv) 知的障害への理解を深める活動の展開(自主活動)

・鹿島特別支援学校PTA及び卒業生保護者の交流会「ふたばの会」活動支援

(3) ひきこもり家族支援の充実、支援ネットワークの構築(再掲。令和元年度自主事業開始)

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
窓口	2	0	1	1	0	1	0	1	6	7
電話	3	1	6	4	2	2	3	6	27	33
訪問(休止中)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
家族相談(月2回)	0	0	4	3	1	2	1	1	12	8
計	5	1	11	8	3	5	4	8	45	55
(前年度)	6	9	9	8	6	5	8	4	55	

※家族相談は心理療法士から助言を受け実施(4, 5月は中止)しています。

(4) 地域生活支援センター「障害者相談支援(専門相談)」の運営

(i) 神栖市障害者相談支援事業の運営 (平成18年度神栖市受託事業。受託金額6,000,000円)

※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
相談件数(身体障害)	53	8	34	41	30	29	50	45	290	317
相談件数(知的障害)	25	6	32	16	22	32	20	20	173	206
相談件数(精神障害)	48	39	56	44	27	30	53	40	337	568
相談件数(その他)	0	0	0	0	1	3	1	1	6	7
障害支援区分認定調査	0	0	6	5	6	5	6	6	34	37

(ii) 障害者総合支援法 指定特定相談支援(計画作成)事業所の運営

(平成26年度自主事業開始。年間収入予算1,932,000円)

実施件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
サービス計画作成	12	4	0	2	2	2	7	6	35	38
モニタリング実施	10	0	4	4	7	19	10	0	54	59
計	22	4	4	6	9	21	17	6	89	97
前年度	22	4	5	7	12	23	19	5	97	

(5) 各種福祉サービス

※前年度：前年4月～11月

貸出用備品・資産	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
車いすの貸出	2	4	4	3	3	11	8	19	54	98
福祉車両レンタカー料助成	2	1	1	3	16	2	1	1	27	47

2. 権利擁護関連活動の充実(福祉後見サポートセンターかみすの運営)

(1) 福祉後見サポートセンターかみす活動の充実 (平成28年度自主事業開始、神栖市より法人後見支援業務の一部受託。受託金額376,852円)

・事業受任状況 11月末現在7名受任中(後見6名、保佐1名)

・相談対応、後見人業務

※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
新規相談件数	1	1	1	6	4	1	1	0	15	15
受任活動件数	34	50	71	49	54	54	39	28	379	213
専門員活動件数	35	51	72	55	58	55	44	33	403	270
ケアカンファレンス	0	0	1	2	0	0	1	2	6	6

(2) 日常生活自立支援事業の運営

(平成13年度茨城県社協受託事業。受託金額2,197,000円)

・事業契約状況 11月末現在契約者27名

・相談対応、自立支援専門員業務

※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
相談件数	2	3	2	3	1	2	2	5	20	20
生活支援員活動件数	1	0	9	12	12	18	19	21	92	96
専門員活動件数	83	75	107	63	52	52	75	66	573	510
ケアカンファレンス	0	0	1	0	1	1	1	1	5	19

3. 生活困窮者への支援活動

(1) 施策の活用による生活困窮世帯への支援

※前年度：前年度年間件数

支援の種類		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
生活福祉資金貸付	福祉費・修学資金		1							1	1
	総合支援資金	1								1	0
	総合支援資金(特例)		100	163	164	126	118	93	53	817	0
	総合支援資金(特延)					60	240	31	97	428	0
	緊急小口資金									0	4
	緊急小口資金(特例)	86	176	172	134	117	106	78	43	912	5
低額診療制度の申請		1	0	0	0	0	1	1	0	3	8
行旅人支援		0	0	0	1					1	2
緊急生活支援事業の実施		9	11	2	12	12	11	11	7	75	74

※生活福祉資金貸付は、貸付申請にかかる事務を茨城県社協から受託（受託金予算 8,168,000円）。

低額診療制度は自主活動、行旅人支援及び緊急生活支援事業は自主事業です。

※(特例)：新型コロナウイルス感染症の影響により減収した世帯を対象とした「緊急小口資金(特例)」

「総合支援資金(特例)」です。受付期間は当初の「7月末まで」から9月末まで延長され、その後12月末まで延長、さらに令和3年3月末まで延長されることが決定（令和2年12月8日付厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長事務連絡）しました。

※(特延)：総合支援資金(特例)の貸付期間延長(最長3ヶ月)にかかる申請

(2) 生活困窮者自立支援事業の運営 (平成29年度神栖市受託事業。受託金額15,711,000円)

※前年度：前年4月～11月

相談事業の種類		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
相談件数(新規)		51	168	261	190	175	150	92	77	1,164	70
プラン内訳	住居確保給付金(※)	10	22	7	16	14	9	12	7	97	4
	住居確保給付(延長)			7	12	5	15	10	7	56	—
	住居確保給付(再延)						5	14	4	23	—
	就労支援	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	生活福祉資金貸付	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
支援活動件数		123	319	442	376	388	530	286	325	2,789	315

※ 住居を喪失した方又は喪失する恐れのある方を対象に家賃相当分の給付金を支給する「住居確保給付金」は、新型コロナウイルスの影響により受給要件が緩和されたこと、延長及び再延長により最長で12ヶ月間の給付が可能となったことで相談・申請が急増する状況が続いています。

※ 本事業と同じく生活困窮者自立支援法に位置づけられた「就労準備支援事業」「家計相談支援事業」の実施にあたり、市からの追加受託に向けた協議を進めています。両事業ともに事業規模が大きく、事業運営の体制づくり・職員の確保など、社協としても準備期間が必要となるため、追加受託は令和4年度からとし、令和3年度を準備期間とする方向で市（社会福祉課）と調整しています。

(3) 食料品寄付を活用した生活困窮者支援の取り組み

・きずなBOXの設置協力（NPO法人フードバンク茨城と連携した自主活動）

令和2年4月～11月 82.2 kg分の食料品（乾麺、レトルト品、缶詰、調味料等）を受領

令和2年11月末時点で 60.3 kg分を活用（本会緊急生活支援事業、市内福祉施設等）

・市民との協働による地域生活支援のしくみづくり

1. ボランティア・目的別コミュニティづくりの応援

(1) ボランティアセンター機能の充実強化(自主事業)

(i) 交流サロン利用、ボランティア登録

※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
交流サロンの利用	0	0	83	91	69	66	86	96	491	1,190
ボランティア登録	1,301	59	19	3	25	1	1	1	1,410	1,996
ボランティア保険加入	801	47	19	3	16	1	1	1	889	1,374

※令和2年3月30日(月)から5月24日(日)まで保健・福祉会館の貸館業務が休止されたため、4～5月は交流サロン利用も休止としました。

(ii) ボランティア相談の内訳

※前年度：前年4月～11月

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
1 ボランティア活動	3	5	8	6	5	4	3	2	36	77
2 ボランティア依頼	1	4	1	2	2	5	4		19	114
3 ボランティア保険								2	2	4
4 交流サロン									0	3
5 福祉活動基金等助成	1			1					2	7
6 善意銀行	4	7	8	13	6	9	3	13	63	75
7 災害時対応			1						1	13
8 広報啓発		1		4	3	1		2	11	14
9 ボランティア講座・交流			1				1	1	3	17
10 ういるかみず	26	10	55	38	37	28	36	39	269	313
11 ファミリーサポートセン	51	23	55	54	74	86	70	75	488	899
12 地区別・目的別サロン	1		5	2	2	1	6	1	18	11
13 福祉団体			1	1	3	4	1	2	12	4
その他					1				1	0
計	87	50	135	121	133	138	124	137	925	1,551
(前年度)	199	194	180	188	143	214	206	227	1,551	

※I-1-(1)-(i)より再掲(内訳表示)

(2) 目的別コミュニティづくりの側面的支援(自主事業)

- ・高齢者サロン数(R02.11.30時点) 14ヶ所(前年同時期14ヶ所)
- ・子育てサロン数(R02.11.30時点) 2ヶ所(前年同時期2ヶ所)
- ・当事者グループ数(R02.11.30時点) 3団体(前年同時期3団体)

※ほとんどのサロン、グループは令和2年3月以降、集まっての活動を休止しています。

・一人暮らし高齢者交流事業

当初計画では6月下旬の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込が立っていない状況をふまえ、今年度の開催は中止としました。

※前年度：3回開催(神栖地区、波崎東部西部地区、矢田部・若松地区)。参加者124名。

2. 市民活動による助け合い・災害時支援活動の推進

(1) 住民参加により福祉課題を直接解決するための基盤強化

(i) 住民参加型在宅福祉サービス「ういるかみす」の運営（平成8年度自主事業開始。
ういるかみす会員利用料等を使用）

2年11月末時点 利用会員 31名 協力会員 23名 ※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
利用件数(5月は休止)	10	0	36	32	40	35	50	40	243	388
利用時間(1時間700円)	13.0	0.0	60.0	46.0	64.5	55.0	81.5	67.0	387.0	573.5

(ii) ファミリーサポートセンターの運営（平成18年度神栖市受託事業。受託金額 4,416,000円）

2年11月末時点 利用会員 851名 子育てサポーター 240名 ※前年度：前年4月～11月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	前年度
利用件数	16	10	61	70	69	68	96	95	485	1,071
利用時間(1時間650円)	29.5	20.5	76.0	87.5	111.0	96.5	134.0	133.5	688.5	2051.0

(iii) 各種講座の開催を通じた新たな人材の開拓（自主事業。茨城県ボランティア基金助成金を活用）

- ・2年11月末時点で未開催。新型コロナウイルス感染症の収束に合わせ開催を検討します。

(2) 災害ボランティア受け入れ体制の整備（自主活動）

- ・茨城県社会福祉協議会主催「新型コロナ感染防止下における災害ボランティアセンターの設置・運営の考え方の検討について」（6月。オンライン会議。県内で感染者が多く確認された市の社協として参加要請）
- ・いばらき自民党政務調査会主催「第3回災害ボランティア活動の促進に関する勉強会」（7月。茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会の代表として出席）

(3) 市民活動を応援するための助成（平成4年度自主事業開始。）

福祉活動基金助成事業、茨城県ボランティア基金助成事業）

- ・ボランティアグループ助成（1グループ5万円を限度） 2団体が申請（申請通り決定）
- ・ボランティア協力校助成（1校5万円を限度） 17校が申請（申請通り決定）

(4) 神栖市社協会長顕彰の実施（平成20年度自主事業開始）

- ・民生委員児童委員1名、社会福祉団体又は社会福祉施設の役員6名、社会福祉施設職員21名、ボランティア3団体を表彰予定
- ・表彰式は福祉感謝会（例年2月中旬開催）での実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込が立っていない状況をふまえ、従来の開催形式にかえて、受賞者の皆様へ表彰状をお届けする形で行う予定です。

3. 福祉教育支援活動の充実

(1) 小中学校への福祉教育支援活動の推（平成5年度自主事業開始。共同募金助成金を活用）

- ・3月以降、学校を訪問する「福祉教育出前講座」は休止しており、現在、各学校には本会保有の書籍、ビデオ教材を活用いただけるようご案内を継続中です。

- (2) 高校生の進路アシストカレッジの開 (平成24年度自主事業開始。事業費の一部に
共同募金助成金、茨城県ボランティア基金助成金を活用)
- ・ 7月下旬から8月上旬にかけての開催を計画していましたが、学校の休業期間変更や施設等での感染症拡大防止措置に伴い、開催日程の調整及び実習先の確保が困難な状況をふまえ、今年度の開催は中止としました。

事業推進のための組織体制の発展・強化

1. 理解者を増やす広報 (自主事業)

- (1) 広報紙「かみす社協ニュース」の発行 (毎月1日新聞折込 23,800部)
- ・ 計画通りの号数を発行。生活福祉資金特例貸付等、新型コロナ関連の情報を中心に掲載しました。
- (2) 広報紙「ボランティアセンターマガジン」の発行 (偶数月15日新聞折込 23,800部)
- ・ 6月以降、単独での発行を見合わせ、必要な情報は「かみす社協ニュース」へ掲載しています。
- (3) 神栖市社会福祉協議会ホームページの運営 (4月～11月)
- ・ 掲載数 194件 (前年同時期 241件) ・ アクセス数 17,217件 (前年同時期 14,503件)
- (4) 神栖市社会福祉協議会リーフレットの発行 (令和2年4月12日新聞折込 ほか)
- (5) 福祉サービス一覧ポスターの掲示 (市内493箇所へ配布)

2. 会員会費・寄付金の充実

- (1) 社協会員加入状況 (11月末時点)
- ・ 一般会費 (1,000円～) 84地区。加入総額 10,565,500円 (前年同時期 83地区。10,611,000円)
 - ・ 特別会費 (2,000円～) 18件。加入総額 73,000円 (前年同時期 14件。46,000円)
 - ・ 法人会費 (20,000円～) 124法人。加入総額 2,880,000円 (前年同時期130法人。3,080,000円)
 - ・ 団体会費 (3,000円～) 7団体。加入総額 33,000円 (前年同時期 6団体。23,000円)
- (2) 寄付金収入の状況 (11月末時点)
- ・ 一般寄付金収入 986,455円 (前年同時期 1,344,916円)
 - ・ 指定寄付金収入 213,710円 (前年同時期 259,467円)

法人運営

1. 会議等の開催 (11月末までの開催等の状況)

開催日(※)	会議名・内容	出席者
令和2年 5月28日	監事による監査(監事の現員数2名) ・ 令和元年度業務執行状況及び財産の状況に関する監査	監事 2名 理事 1名
6月4日 (※)	第1回理事会(理事の現員数18名。書面同意により決議の省略) ・ 補欠評議員の選任候補者推薦(みなし決議) ・ 令和元年度神栖市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認(みなし決議) ・ 令和2年度定時評議員会の招集(みなし決議) (決議があったものとみなされた日:6月11日)	(同意書受領) 理事 18名 (確認書受領) 監事 2名

開催日(※)	会議名・内容	出席者
6月11日 (※)	評議員選任委員会(委員現員数5名。書面審査) ・補欠評議員の選任(3名選任) (書面受領完了:6月11日)	(書面受領) 委員 5名
6月11日 (※)	定時評議員会(評議員の現員数40名。書面同意により決議の省略) ・補欠役員の選任(理事2名選任。みなし決議) ・令和元年度神栖市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認(みなし決議) (決議があったものとみなされた日:6月26日)	(同意書受領) 評議員40名
6月19日 (※)	第1回福祉活動基金管理運営委員会(委員現員数7名。書面審査) ・令和元年度助成実績報告 ・令和2年度ボランティア協力校助成審査(第1次応募14校) ・令和2年度福祉活動基金の運用基準(案)について (書面受領完了:6月25日)	(書面受領) 委員 7名
7月29日 (※)	第2回福祉活動基金管理運営委員会(委員現員数7名。書面審査) ・令和2年度ボランティアグループ助成審査(2団体) ・令和2年度ボランティア協力校助成審査(第2次応募3校) (書面受領完了:8月6日)	(書面受領) 委員 7名
8月4日	第1回福祉後見サポートセンターかみす運営委員会(委員現員数6名) ・正副委員長の選出(委員の互選) ・福祉後見サポートセンターかみす運営現状について ・法人後見受任審査について(1件候補者受任決定)	委員 5名
9月29日	第2回理事会 ・令和2年度上期(4~7月)事業実施状況及び予算執行状況について(決議) ・経理規程の一部改正(案)(決議) ・令和2年度社会福祉事業区分収支補正予算(案)(決議) ・令和2年度第2回評議員会の招集(決議)	理事 16名 監事 2名
10月15日 (※)	第2回評議員会(評議員の現員数40名。書面同意により決議の省略) ・補欠役員の選任(理事1名選任。みなし決議) ・令和2年度社会福祉事業区分収支補正予算(案)(みなし決議) (決議があったものとみなされた日:10月30日)	(同意書受領) 評議員40名

※書面審査とした会議は「提案日」を開催日欄に記載しています。

2. 事務局職員の人事

(1) 新規採用

- ・募集職種 社会福祉協議会の事務・事業を担う一般事務職員(令和2年9月1日採用予定)
- ・採用方法 大卒者を対象に公募し、試験選考による採用(募集人員:1名程度。応募者1名)
- ・試験実施 6月28日(日) 一次試験(教養試験、論文試験、性格特性検査)
- ・試験結果 受験者欠席で中止
- ・再募集 同職種で再募集を実施(令和3年4月1日採用予定。募集人員1名程度。応募者4名)
- ・試験実施 11月15日(日) 一次試験(教養試験、論文試験、性格特性検査)※書類選考後
12月6日(日) 二次試験(面接試験)
- ・試験結果 3名が一次試験合格。うち辞退者1名を除く2名が二次試験を受験。採点の結果、合格基準に達した者がいなかったため採用に至らず。
- ・再募集 引き続き新規採用に向け準備中(令和3年4月1日付採用予定)

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会 令和2年度収支状況

自：令和2年4月1日 至：令和2年11月30日

事業区分・拠点区分(サービス区分)	2年度予算 現在額	収 支 状 況			備考
		収 入	支 出	翌月繰越	
社会福祉事業区分	200,127,000	176,638,648	120,736,744	55,901,904	
社協自主事業	130,520,000	118,672,780	78,292,604	40,380,176	
地域福祉推進事業	117,074,000	108,698,523	70,576,590	38,121,933	
精神保健福祉支援事業	4,943,000	4,781,856	2,906,081	1,875,775	
成年後見制度に関する事業	8,503,000	5,192,401	4,809,933	382,468	
受託事業	40,277,000	33,714,280	23,757,144	9,957,136	
日常生活自立支援事業	2,439,000	2,314,930	835,264	1,479,666	
精神障害者デイケア事業	3,288,000	3,200,000	1,358,525	1,841,475	
ファミリーサポートセンター	4,416,000	3,312,000	2,797,369	514,631	
障害者相談支援事業	6,255,000	6,149,600	3,760,431	2,389,169	
生活困窮者自立支援事業	15,711,000	9,402,750	9,147,866	254,884	
生活福祉資金に関する事業	8,168,000	9,335,000	5,857,689	3,477,311	
障害者計画相談事業	1,932,000	1,189,640	713,996	475,644	
基金積立事業	17,432,000	17,061,547	14,373,000	2,688,547	
職員退職手当積立事業	9,966,000	6,000,401	3,600,000	2,400,401	
公益事業区分	35,916,000	26,741,278	21,071,516	5,669,762	
広告・自動販売機設置事業	597,000	252,778	0	252,778	
労働者派遣事業	35,319,000	26,488,500	21,071,516	5,416,984	
法人全体	236,043,000	203,379,926	141,808,260	61,571,666	

「生活困窮者自立支援事業サービス区分」及び「生活福祉資金に関する事業サービス区分」は令和2年度補正予算を反映させています。

資金収支計算書

自 令和2年04月01日 至 令和2年10月31日

法人名：社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会

事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 > 会費収入	13,950,000	13,551,500	398,500	
寄附金収入	2,000,000	1,200,165	799,835	
経常経費補助金収入	92,769,000	88,152,269	4,616,731	
受託金収入	40,317,000	33,784,776	6,532,224	
事業収入	39,347,000	28,251,478	11,095,522	
障害福祉サービス等事業収入	1,932,000	1,189,640	742,360	
受取利息配当金収入	46,000	38,693	7,307	
その他の収入	1,054,000	596,855	457,145	
事業活動収入計(1)	191,415,000	166,765,376	24,649,624	執行率 87%
< 支出 > 人件費支出	164,797,000	100,153,728	64,643,272	
事業費支出	13,667,000	7,171,694	6,495,306	
事務費支出	22,022,000	13,762,938	8,259,062	
共同募金配分金事業費	201,000	18,200	182,800	
助成金支出	2,680,000	1,221,700	1,458,300	
事業活動支出計(2)	203,367,000	122,328,260	81,038,740	執行率 60%
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	11,952,000	44,437,116	56,389,116	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 > 固定資産売却収入	0	11,000	11,000	
施設整備等収入計(4)	0	11,000	11,000	
< 支出 > 固定資産取得支出	783,000	0	783,000	
施設整備等支出計(5)	783,000	0	783,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	783,000	11,000	794,000	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 > 基金積立資産取崩収入	17,000,000	17,000,000	0	
積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	
事業区分間繰入金収入	3,009,000	1,120,000	1,889,000	
拠点区分間繰入金収入	23,117,000	18,360,000	4,757,000	
その他の活動収入計(7)	43,127,000	36,480,000	6,647,000	
< 支出 > 積立資産積立支出	3,400,000	0	3,400,000	
事業区分間繰入金支出	3,009,000	1,120,000	1,889,000	
拠点区分間繰入金支出	23,117,000	18,360,000	4,757,000	
その他の活動支出計(8)	29,526,000	19,480,000	10,046,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	13,601,000	17,000,000	3,399,000	
予備費支出(10)	2,367,000	0	2,367,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,501,000	61,448,116	62,949,116	
前期末支払資金残高(12)	1,501,000	123,550	1,377,450	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	61,571,666	61,571,666	

議案第1号

令和2年度第3回評議員会の招集について

<提案理由>

定款第14条の規程に基づき、令和2年度第3回評議員会を、以下のとおり招集することについて、審議の上決議願います。

1. 会議名称 令和2年度第3回評議員会
2. 予定時期 令和3年3月中旬から下旬
評議員会の前に、令和2年度第4回理事会を開催します。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、会議の招集をせ
ずみなし決議とする場合があります。
3. 予定場所 神栖市保健・福社会館
4. 予定案件 議案第1号 令和3年度 神栖市社会福祉協議会事業計画(案)
議案第2号 令和3年度 社会福祉事業区分 収支予算(案)
議案第3号 令和3年度 公益事業区分 収支予算(案)
議案を追加する場合は第4回理事会でお諮りします。
5. 招集予定 評議員40名

令和3年1月7日 提出

社会福祉法人神栖市社会福祉協議会
会 長 石 田 進